

# 沖縄県五城デニー知事に「意見書」を届けよう!

「意見書」の提出期間は、9月28日(月)まで、だれでも提出できます。

本紙ニュースのP1-2で述べた『辺野古設計変更承認の申請書』の縦覧が9月8日から28日まで行われます。防衛省が沖縄県に対し「変更承認申請」を行ったことで、辺野古新基地阻止をめぐる闘いは大きな節目を迎えています。

「変更承認申請書」は3週間告示・縦覧され、期間中は誰でも(団体も可)沖縄県知事宛てに意見書を提出できます。オール沖縄会議が意見書を送るキャンペーンを呼び掛けています。呼びかけに応じて、全国から玉城デニー知事に意見書を送りましょう。

皆さんで、民意を無視した工事を止める力になります。利害関係には、納税者として、ジュゴンの保護に関心がある、戦争に反対、など自由に、意見の理由に関しても自由に書くことができます。

政府・防衛省の工事強行をストップさせるのは、全国の主権者一人ひとりの声です。

## ※沖縄からの呼びかけ

<https://youtu.be/uMQ8klUxoCM>

「意見書」記入上の注意

(書式と記載例は下記のURLをご覧ください)

<https://humanchain.tobihiro.jp/>

※ 個人でも団体でも提出できます。

団体の場合は、団体名・代表者・事務所の所在地を記載してください。

※ 「意見書」の提出は、9月8日(火)～28日(月)3週間の縦覧期間内に限られます。期間外の提出は「無効」になりますので注意してください。

※ 縦覧期間内に、下記に記載の提出先に持参・郵送・メール・FAXのいずれかで提出ください。郵送の場合、締切日9月28日の消印があれば有効です。

## 「意見書」の提出先

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2

沖縄県土木建築部海岸防災課

TEL. 098-866-2410 fax. 098-860-3164

E-mail. [umetateiken@pref.okinawa.lg.jp](mailto:umetateiken@pref.okinawa.lg.jp)

【呼びかけ】「止めよう! 辺野古埋立て」国会包囲実行委員会

<https://humanchain.tobihiro.jp/>

<沖縄一坪反戦地主会関東ブロック> 090-3910-4140

<沖縄意見広告運動> 03-6382-6537

<ピースポート> 03-3363-7561

# 沖縄意見広告運動ニュース

2020  
9.10 (THU)

## 沖縄意見広告運動

東京事務所 電話: 03 (6382) 6537 FAX: 03 (3389) 8573

大阪事務所 電話: 06 (6328) 5677 FAX: 06 (6328) 5777

■東京連絡先 〒165-0026 東京都中野区新井 2-7-12 エントピア中野25号 協同センター・東京 内

■関西連絡先 〒533-0032 大阪市淀川区淡路 3-6-31 協同会館アソシエ 内



安倍退陣! 「辺野古唯一」のアベ政治の継続を許さない!  
**工事は破綻し不可能!**  
新基地工事断念し、コロナ禍の命と暮らしを守れ!

## 第11期沖縄意見広告にご賛同の皆さま

元気にお過ごしでしょうか。

6月7日(日)に予定した沖縄2紙・全国紙への第11期沖縄意見広告は、4月7日に7都府県、4月16日に全国へ拡大された新型コロナウイルス感染拡大防止の「緊急事態宣言」を受けて、沖縄意見広告紙面づくり等の「3密」作業を回避するため延期させていただきました。沖縄でも、辺野古で座り込み抗議行動を取り組むオール沖縄会議も「緊急事態宣言」を受けて感染拡大防止のため、4月15日に座り込み行動を中止し、政府に辺野古埋立て工事の中止を強く求めました。しかし、安倍政権・防衛省は「緊急事態宣言」下でも辺野古側の埋立て工事を強行し続けましたが、直後に工事関係者のコロナ感染が明らかになり、埋立て工事及び米軍キャンプ・シュワブ基地内工事は中止されました。しかし、6月には再開強行されています。

## 軟弱地盤で工事不可能に 在沖米軍基地・県内でコロナ感染拡大

大浦湾側の埋立て予定海域は水面下90メートルまで広大な軟弱地盤の存在が明らかになり、地盤改良工事なしに埋立てを実施することはできません。沖縄防衛局は

昨年1年で地盤改良工事方法を検討し、埋立て護岸部分の海底に砂杭を打ち込むサンド・コンパクション・パイル工法等を含む「辺野古・設計概要変更承認申請書」を作成して4月21日に沖縄県に提出しました。

一方、沖縄県は4月20日に「沖縄県緊急事態宣言」を发出して新型コロナ感染防止対策に取り組んできました。7月初旬から在沖米軍基地内では米本国からの米軍部隊異動に伴う感染者が急増し、7月下旬には政府のGo to Travel キャンペーンの前倒し実施で県内感染者の発生が急増し、8月は人口当たり東京の2倍以上の感染者発生となっています。「沖縄県緊急事態宣言」の警戒レベルも最高の第4段階になって「辺野古・設計概要変更承認申請書」の「告示・縦覧」も延期されました。(2ページに続く)



「沖縄県緊急事態宣言」を発表する玉城デニー知事

Okinawa Opinion

Home About Okinawa Blog

# WHAT'S GOING ON IN OKINAWA?

This website uses cookies to improve your experience. We'll assume you're ok with this, but you can opt-out if you wish.

Read More

Reject

ACCEPT

Cookie settings

沖縄意見広告英文サイト開設しました。英語圏にお住まいの知人の方々へ拡散をお願いします。 <https://www.okinawaopinion.org/>

## 沖縄意見特別広告への賛同をお願いします。

■銀行からも振り込めます

加入者名: 意見広告 (イケンコウコク)

支店名: 〇九九 (ゼロキュウキュウ)

口座種類: 当座預金

口座番号: 0281870

■掲載 2020年11月に沖縄2紙、全国紙へ掲載を検討中。

■賛同金 個人: 1口 1000円 できれば2口以上をお願いします。

団体: 1口 5000円 できれば2口以上をお願いします。

振替口座 加入者名: 「意見広告」

口座番号: 00920-3-281870

※ネット上でも賛同振込できます。広告掲載の時期、予定原稿及び掲載予定紙はホームページにてお知らせいたします。

# 「辺野古唯一」のアベ政治の継続を許さない! 新基地断念し、コロナ禍の命と暮らしを守れ!



## 防衛省が「辺野古・設計概要変更申請」を提出 問題点はどこに?

防衛省の「設計概要変更承認申請」には大きな問題があります。**第1は**、現在の技術では水面下70メートルまでしか地盤改良ができず、C1護岸など水面下90メートルまで続く軟弱地盤では竣工後も護岸の不同沈下がずっと続く。**第2は**、滑走路部分でも供用開始後も不同沈下が続く、滑走路に求められる平坦性を維持するためには毎年の補修が必要となる。**第3は**、地質学者や地盤工学研究者の沖縄辺野古調査団の検証では、水面下90メートルまで軟弱地盤が続くC1-1-1工区の護岸は震度1以上で完成時に崩壊する危険があり、震度2以上の地震でC2工区以外の護岸も完成時に崩壊する危険がある。震度3以上の地震ではC1-1-1工区が施工時に崩壊する危険があるとされている。

つまり、沖縄防衛局の「設計概要変更承認申請書」のままでは、震度1~3の地震で崩壊する危険性がある護岸や滑走路の不同沈下が供用開始後もずっと続くこととなります。政府の「設計概要変更承認申請」は、地盤改良5年の期間と約1000億円の費用追加を含め、埋立て工事に要する経費が7200億円となり、総経費も当初の3500億円から9300億円へ約6000億円近く増えるのです。

## 「勝つ方法はあきらめないこと」 粘り強い反対運動に遅々として進まない工事

安倍政権は、「普天間飛行場の一日も早い危険性除去のため」として辺野古新基地建設を強行してきましたが、今回の設計変更で完成は遅れ十数年後の2030年代後半になる予定です。当初の1996年のSACO合意の普天間移設期限では5年ないし7年とされ、現在の辺野古キャンプ・シュワブ地区と隣接水域の埋立て計画が日米合意された2006年には2014年の完成とされてきました。しかし、「勝つ方法はあきらめないこと」を合言葉に沖縄県民の粘り強い反対運動が続く、埋立て計画は進みませんでした。2012年10月の普天間基地へのMV-22オスプレイ強行配備に対しては、①オスプレイ配備撤回、②米軍普天間基

地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念することを求める県民大会が開催されました。この大会決議を「建白書」にして大会実行委員会、全沖縄県議会議員、全市町村長及び全市町村議会議員が署名して、12年末に政権に返り咲いた安倍総理大臣に「沖縄の実情を今一度見つめて戴きたい。沖縄県民総意の米軍基地からの『負担軽減』を実行して戴きたい」と2013年1月28日に提出したのです。

## 沖縄や全国の民意を無視した暴挙の数々 「戦争への道」を急いだ安倍政権

しかし、再登場した安倍政権は沖縄の声に耳を傾けることなく、日米同盟強化に向け、辺野古新基地建設を「普天間飛行場の使用を回避するための唯一の解決策である」と日米合意し、辺野古新基地建設を強行してきました。さらに、高江のノグチゲラなど希少種の森を潰してオスプレイ着陸帯の建設を強行し、与那国島での陸自監視部隊基地や宮古島、石垣島、奄美大島での陸上自衛隊ミサイル基地の建設に着手してきました。それだけではなく、安倍政権は、閣議決定による解釈改憲によって日本国憲法が禁じてきた「集団的自衛権の行使」を強行し、沖縄だけでなく全国各地の自衛隊基地でも米軍のための施設を建設・強化し、「戦争への道」を走り続けてきたのです。その役割は日本を守ることであり、対米隷従の政治の根本にある日米安保条約・日米地位協定の下に日本列島や南西諸島を日米同盟の盾(=戦場)にするためです。

## 安倍退陣! 後継・管政権のアベ政治の継続を許さない!

その安倍首相が体調悪化で8月28日に辞任を表明しました。その置き土産として陸上「イージス・アショア」の秋田・山口への配備とん挫に代わって「敵基地攻撃能力=攻撃ミサイル保有」など持ち出し、加速する「戦争への道」を後継の菅氏(官房長官)に引き継ぐ意向です。私たちは、「戦争への道」を止めるために、沖縄県民と共に辺野古新基地建設や自衛隊基地建設をストップさせ、米軍基地より命と暮らしを守れと声をあげねばなりません。

第11期沖縄意見広告運動は、今秋(11月)に、コロナ感染拡大禍で延期していた第11期広告を、特別な形式で実施することにしました。この広告実施の成功のために、全国の皆さまにご賛同とご協力を呼びかけます。

2020年9月10日  
沖縄意見広告運動全国世話人一同  
(今秋の第11期特別広告実施についての要綱は、3ページの「事務局からのお知らせとお願い」をご覧ください)

## 陸上イージス配備撤回なら 辺野古新基地も撤回を! 「敵基地攻撃論」は憲法違反で危険です。

安倍政権は、トランプ米政権の言いなりに米国製の武器を爆買いし、秋田・山口に配備強行しようとしてきた陸上配備型迎撃ミサイル「イージス・アショア」配備計画を、両県住民の反対運動の前に立ち往生し、「コストと期間」を理由に配備計画を撤回しました。ならば、工事不可能となっている辺野古新基地建設計画も断念し撤回すべきです。

さらに重要なことは、辞任直前の安倍首相が、このイージス配備撤回を逆手にとって、敵のミサイル基地をたたく「敵基地攻撃能力」保有に道筋をつけようとしていることです。いうまでもなく、相手がミサイルを打つ前に「先制攻撃」を

する敵基地攻撃は「攻撃的兵器保有」を禁じてきた戦後憲法に違反し、なおかつ国連憲章にも違反するものです。

安倍政権の下で提言された「敵基地攻撃論」は、米国の対中軍事戦略に追従するものであり、それは米国の覇権を維持するために日本、とりわけ沖縄を含む南西諸島を戦場にすることで、アメリカとともに「戦争できる国」に向かって大軍拡と戦争体制強化への流れを加速させる危険極まりない策動といえます。東アジアの平和のためにも声を上げ、後継管政権のアベ政治の継承を許さない闘いを強めましょう!

「敵基地攻撃論」については、沖縄意見広告運動の全国世話人である伊波洋一氏の「再び戦場の島とさせないために」〈世界〉10月号より転載)を沖縄意見ホームページにアップしていますのでご覧ください。〉

## 今秋11月に 沖縄2紙 全国紙に 特別広告を掲載いたします

第11期沖縄意見広告は、6月7日(日)の沖縄2紙と全国紙に掲載予定でしたが、コロナ感染拡大による「非常事態宣言」状況を踏まえて、延期させていただきました。ハガキにてお知らせいたしましたように、その理由は、ちょうど4月~5月に集中して行うデザイナー、スタッフ、ボランティアを交えての広告紙面作りが感染リスクの高い「3蜜」を避けられず、難しいためでした。

そして9月8日、沖縄現地で、「辺野古設計概要変更承認申請書」の「告示・縦覧」が開始され、安倍退陣によって「辺野古唯一」政策など「アベ政治」を継承する菅自公新政権が発足しようとしています。「敵基地攻撃論」の危険な動きも始まり、今秋には米大統領選もあり、米軍思いやり予算をめぐる日米交渉も始まります。

沖縄の辺野古新基地建設阻止の闘いは、重要な節目を迎えようとしています。

こうした節目に臨んで、安倍行き詰まり辞任、後継政権の発足、米大統領選の結果や「思いやり予算」をめぐる日米交渉の開始を、辺野古新基地建設計画の白紙撤回への好機へと転じるため、コロナ禍でも沖縄意見広告運動として声をあげる時だと判断しました。

今秋11月の米大統領選の直後のころ、延期していた第11期広告を、沖縄2紙と全国紙に、特別の形式で掲載します。この特別広告は、コロナ感染拡大が秋~冬のインフルエンザ流行開

始時期と重なる次の大きな波を前にした時期とはいえ、作業するスタッフの感染防止のための「3蜜」を避ける必要もあり、賛同者一覧なしで新聞1頁大の特別形式で掲載させていただきます。そのために、第11期にご賛同いただいた賛同者のお名前は来年度の第12期広告に掲載させていただきます。

どうぞ、すでに賛同いただいた皆様、これからご賛同いただく皆さまに、こうしたコロナ禍での特別の措置についてご理解いただき、沖縄への連帯の変わらぬ意思をしめし、そして「米軍新基地より命と暮らしを守れ」の声を、共にあげていただきたく、心よりお願いする次第です。

- 今秋11月広告の日時、掲載紙  
決まり次第、ホームページにてお知らせいたします。
- 賛同拡大についてのお願い  
同封しました振り込み表付きのチラシは、賛同拡大のためにお使いください。東京の事務局にご連絡くだされば、必要枚数をお送りいたします。どうぞ、よろしく申し上げます。

■第11期特別広告への賛同をお願いします。から  
賛同金の振り込みなど、4ページ下段をご覧ください。

